

カニダンス

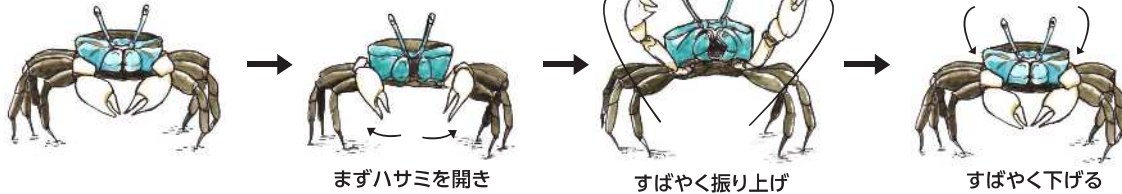
夏の干潟の主演は、カニダンスです。海の潮が引いて目の前の湾が干潟になっているときに見られます。

ダンスの踊り手はオスだけです。求愛や縄張り活動の意味があると言われますが、解明されていない動きもまだまだあります。

干潟のカニは、カニをえさにする鳥が見ると砂色、泥色で目立ちませんが、カニの目線で見ると、色鮮やかな宝石のような色をしています。

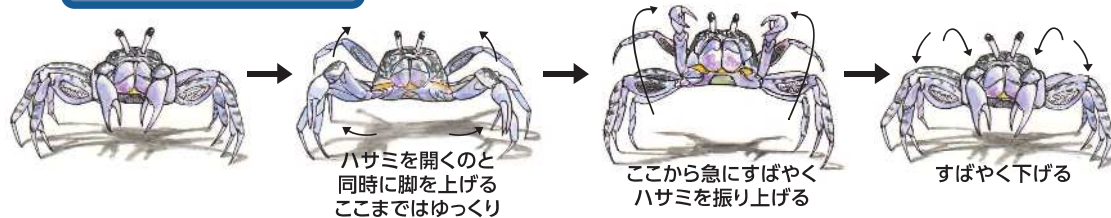
イラスト：江良弘光

チゴガニ



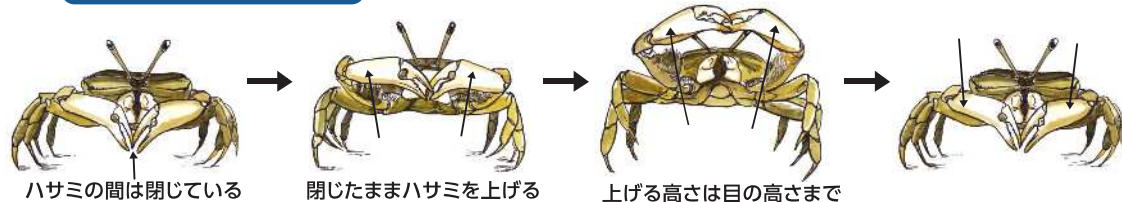
一連の動きをすばやく、休みなく続けます。周辺のおス達そろってダンスをする姿も見られます。白いハサミと水色の顔がよく目立ちます。

コメツキガニ



早くなったり遅くなったり面白いダンスをします。えさを食べるのに熱心なので、ダンスが始まるまでしばらく待ちましょう。色はオパールの様でとても鮮やか。

ヤマトオサガニ



ハサミを目の高さまで上下する動きを繰り返します。歩きながらダンスをすることもありますよ。望遠鏡のように長い目と、白いハサミと口が目立ちます。